

将来担う中学生の思い

学校教育課 ☎(88)9168

1月30日、「中学生による模擬議会」を開催。各学校の代表者が議員となり、自分たちの思いを込めた質問をしました。皆さんは、議会を体験することで市の施策やまちづくりに関心を深め、議会や政治の仕組みを学びました。質問と市の答弁の概要は、次のページのとおりです。



堂々と質問した中学生議員の皆さん

●模擬議会議員名簿（敬称略）

番号	氏名	学年	学校	番号	氏名	学年	学校
1	杉山 匠磨	2	第一中	13	大賀 遥斗	8	稲田学園
2	後藤 悠哉	2		14	添田 歩夢	8	
3	三浦 博翔	1		15	佐久間 康平	2	小塩江中
4	小川 巧真	2	第二中	16	滝田 和佳	2	
5	荒川 愛実	2		17	大槻 勇太	2	仁井田中
6	吉村 彩乃	1		18	鈴木 美優	1	
7	小林 和花菜	2	第三中	19	溝井 菜月	2	大東中
8	舘脇 さくら	2		20	三村 珀斗	2	
9	戸梶 璃音	1		21	木村 康佑	2	長沼中
10	田中 佑樹	2	西袋中	22	廣田 歩叶	1	
11	矢吹 淳哉	2		23	渡辺 智	2	岩瀬中
12	海老原 和奏	1		24	田邊 美咲	2	



議場の緊張感が伝わってきます



第一中
杉山 匠磨 さん



第二中
小川 巧真 さん



第三中
小林 和花菜 さん



西袋中
田中 佑樹 さん

空き家対策について

Q 市の空き家の状況はどのようになっていますか。

A 市内全域を対象に、空き家実態調査と、空き家所有者を対象にしたアンケート調査を行った結果、683件を空き家と判定しました。

このうち、このまま放置すれば建物が倒れるなどの保安上危険な状態にある特定空き家候補を54件確認しました。

Q 今後どのように空き家対策を進めていきますか。

A 空き家所有者へ、適切な管理に努めるよう依頼、周知を行っています。

昨年3月に「須賀川市空家等対策計画」を策定しました。9月から不良空き家となった住宅を自ら取り壊す場合に、その費用の一部を補助する事業を行うなど、空き家の解消に努めています。

ボランティアについて

Q 市内ではどのようなボランティアが行われていますか。

A 牡丹園内での観光ガイド、釈迦堂川花火大会の会場案内や終了後のごみ拾いなどが行われています。

また、病院や福祉施設でのおむつたたみ、通学時の防犯パトロール、図書館での読み聞かせなども行われています。

Q 各学校へのボランティア募集と、災害ボランティアで中学生が活動する場などがありますか。

A 市民交流センター内の中央図書館で、児童、生徒向け図書の選書などを行う「teen teens」や、各公民館でのジュニアボランティアなどを募集しています。

災害ボランティアは、市防災訓練で、避難所運営や、炊き出しの補助などを行っています。

学校の設備について

Q 市内小・中学校の特別教室へのエアコン設置状況はどこまで進んでいますか。

A 全ての学校のパソコン室26室と、稲田学園の音楽室2室など合わせて33室に設置しています。

Q 現時点で、特別教室へのエアコン設置を検討していますか。また、予定があるなら、いつになりますか。

A 児童生徒の皆さんの熱中症対策と、健康被害を及ぼさないよう、国では学校への空調設備、エアコンを整備するための新しい補助制度を作りました。

市では、この制度を活用して、音楽室や美術室、図書室、図工室などの特別教室にエアコンを設置するための工事を行い、今年夏までの完成を目指しています。

農業の振興について

Q 市の農産物のPRは、どのように行われていますか。

A 首都圏などの卸売市場で、管内の市町村長などが一緒に旬の野菜をPRする、「トップセールス」を毎年開催しています。

また、神奈川県座間市、北海道長沼町、大阪府豊中市など、本市と交流のある自治体でのイベントや物産展で、市内の野菜や米、果物などの農産物を出展し、そのおいしさを伝える活動を行っています。

Q 風評被害払拭に向けた今後の取り組みはありますか。

A 風評被害を取り除くために、消費者の皆さん一人一人に丁寧に説明し、農産物の安全性を理解していただくことが大切です。そのために、食の安全性確保で注目されているGAP認証取得の支援を含め、関係団体と協力しながら風評被害の対策に取り組めます。

（次ページに続く）



稲田学園
大賀 遥斗 さん

新図書館（tette）について

Q 以前の図書館との違いや、施設の特徴は、どのようなものがありますか。

A 5つの特徴があり、①面積が約2・3倍、図書数が5万冊増え20万冊になりました。②図書館以外のスペースにも本を置いています。③本がテーマごとに並んでいます。④子ども専用図書館があります。⑤1階から4階に、自動貸出機や資料検索機があります。

Q 勉強をより充実させたり、家族連れで気軽に参加できるイベントを行ったりするなどの工夫はありますか。

A tetteのどこでも読むことができ、学習専用ルームをはじめ学習スペースを拡大しています。

また、読み聞かせ会を定期的に開催するほか、複合施設のメリットを生かした季節ごとのイベントなどを実施していきたいと考えています。



長沼中
木村 康佑 さん

生活排水対策について

Q 市の平成29年度末における下水道などの普及率を教えてください。

A 事業別の普及率は、公共下水道が48・5%、農業集落排水施設が15・9%、合併処理浄化槽が17・2%で、市全体の普及率は合計で81・6%となり、福島県平均と同程度となっています

Q 市の目標とする普及率と、川の環境を守っていくために、僕たちに何かできることがあれば教えてください。

A 2022年度に全体の普及率89%を目標に、事業の推進に努めていきます。

皆さんが、川の環境を守るためにできることは、食べ物の残りは水と一緒に流さないなど、生活の中から、なるべく汚れた水を流さないことが重要です。

一人一人の心掛けが、水環境の向上につながるものと考えています。



小塩江中
佐久間 康平 さん

太陽光エネルギーについて

Q 市内の太陽光エネルギーの普及率を教えてください。

A 市の普及率を公表しているものはありませんが、国の電気の固定価格買取制度利用状況によると、平成29年度末の市内の太陽光発電装置の設置件数は2359件です。

Q 太陽光エネルギーを普及させるための対策と、その目標はありますか。

A 住宅用の太陽光発電設備を設置する場合に、住宅1件当たり最大8万円の補助金を交付しています。

また、市では、具体的な数値目標は設定していませんが、県では、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを推進するため、「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」を定めています。本市でも可能な限り再生可能エネルギーの導入が進められるように取り組んでいます。



岩瀬中
渡辺 智 さん

本市のPRについて

Q 市全域でウルトラマンをどのように活用し、PRを進めていきますか。

A ウルトラマンの故郷「M78 星雲 光の国」の姉妹都市として、市の魅力を全国に発信しています。2020年度に岩瀬地域にオープン予定の特撮アーカイブセンタールなどの特長を生かしながら、特撮の神様円谷英二監督の功績を市全体の地域資源とし、全国へPRしていきます。

Q 部活動のユニフォームなどにウルトラマンのデザインを取り入れることやデザインなどの計画はありますか。

A 特定のチームを応援することとは、世界を守る正義の味方、ウルトラマンのイメージに合わないため、難しいとのことでありました。今後は、怪獣キャラクターを活用した商品開発なども進め、本市のPRを積極的に行っていく予定です。



仁井田中
大槻 勇太 さん

少子化対策について

Q 市の少子化対策への取り組みはどうなっていますか。

A 安心して子どもを産み育てられる環境を整えること、安定した雇用を確保すること、子どもの教育環境を整えることなどが必要であると考えています。

市では、0歳と1歳の幼児それぞれに、3万円分の育児用品を購入できる「すくすく赤ちゃん応援事業」を行っています。

また、5歳の子どもたちが幼児教育や保育を受けられるように、幼稚園やこども園、保育所に通う小学校入学前1年間の授業料や保育料を無料にする「5歳児保育料等給付事業」を市が独自に行っています。

さらには、安心して妊娠、出産、子育てができるように、「子育て世代包括支援センター」を設けて、市の専門職員が相談や支援を行っています。



大東中
溝井 菜月 さん

須賀川市の発展について

Q 最近、様々な商業施設がオープンし、にぎわいを感じられます。これらは、どういった経緯で建てられましたか。

A 商業施設の出店を計画した際に、市と協議をして、より良い条件の整った本市を選んで出店したものと考えています。

Q 市のまちづくり計画と、市長の考える須賀川市像を教えてください。

A 昨年4月から「市まちづくりビジョン2018」がスタートし、市民の満足度を一層向上させていきたいと考えています。

また、市の将来の姿は、「選ばれるまちへ」とともに歩む自治都市「すかがわ」です。

あらゆる人から「どのまちよりもすばらしいまちだ」と思ってもらえるよう皆さんと一緒にまちづくりを進め、光り輝くすばらしい須賀川市を創りたいと考えています。



真剣にメモをとる模擬議会議員

模擬議会議員の声

▼今回の議会で知ったことを周りの人たちにも伝え、自分の住む市に誇りを持ちたい。

▼市の未来のため、市民の一員として役立ちたいと思った。

▼議場に入れたことは、とても貴重で、議会の空気や緊張感、そして重要さがよく理解できた。

▼様々な角度から市を知ることができた。

▼今日知ったことを日々の生活に生かし、市の発展の助けに少しでもな

将来の振興、発展のために

市議会議長 佐藤 瞭二

それぞれの学校の代表として参加された生徒の皆さん、大変素晴らしい模擬議会でした。市への認識や質問の中身も、私たち議員と何ら変わらない、遜色のない内容でした。また、参加された全員がメモをとり、多くのことを学ぼうとする姿勢は、大変立派でした。先ほどの感想においても、しっかりと将来の須賀川を見据えた考えをお持ちですので、市の振興・発展のため、様々なことに興味を持ち、今後も多くのことを学んでいただきたいと思います。

故郷は、皆さんを応援しています

須賀川市長 橋本 克也

中学生議員の皆さん、緊張感の中での質問でしたが、大変立派でした。さて、先日の全国都道府県駅伝で、福島県チームが優勝しました。ゴールテープを切った相澤選手は、長沼中学校、3区を走った阿部選手は仁井田中学校の卒業生です。皆さんと同じ中学生や高校生もすばらしい走りを見せてくれました。私はこの快挙を大変誇らしく思っています。目標に向かい、努力し、自分の可能性を信じて、前に進んでください。皆さんの故郷は、いつでも、そしていつまでも皆さんを応援しています。

れれば良いと思った。

▼市がより良いまちに向けて様々な仕事をしていることを知り、市の活動への興味が一層深まった。